

### 森 和之議員

#### 公園整備について

**森** 水遊びができるような公園の整備はできないのか。

**土木部長** 総合計画策定に向けた意見交換会の中で、子どもの遊び場となる公園の整備を望む声があるのは認識している。高梁認定こども園の整備で生じる跡地は貴重な財産であり、それらも含め市民にとって有効に活用ができるよう検討を進めていく。

**森** 子育て世代の声に答えなければ定住にもつながらない。しっかりとした取り組みを望む。

#### 防災について

**森** 河川改修要望の見直しを行うべきではないのか。

**土木部長** 平成30年に甚大な被害を受けた箇所については県に本年8月、当面の越水とか浸水対策を

### こども園の整備に伴う跡地には市民が憩える公園の整備を

至急に行ってほしいと要望している。

**森** 災害を受けた箇所の抜本的な問題を早急に解決するため、河川工学の専門家の意見を取り入れた河川改修要望はできないのか。

#### 小規模農家の支援について

**森** ピオーネやトマトなどの規格外の農作物に対して、販路開拓や支援はできないのか。

**産業経済部長** 直売所などの身近な販路も考えられる。自家消費や畑で廃棄していた農産物に販売機会が生まれ所得増につながると農地の保全にもなる。イベント販売など事例を参考にして今後研究していく。



### 新倉 淳議員

### 本当に必要性のある通行止めを！

#### 県道新見川上線の道路規制について

**新倉** 通行止めの規制下の現状をどのように認識しているのか。

**市長** 地域の住民にとって県道新見川上線は生活道であり、国道180号が通行止めとなった場合には非常に重要な道路と認識している。規制を少しでも緩める方向で様々な対策事業に取り組んでいたことを、強く県にも要望していかねければならないと認識している。

**新倉** 本当に安全が担保されない場合、通行止めはやむを得ないが現状は大きく違う。降雨量だけの基準での通行止めは無理があり、本当に危険を予測しての通行止めではない。治山工事が進み、ある

程度の安全確保を前提として、適切な確な規制のための基準の緩和を要望できないか。

**市長** 長年の課題と認識している。時間雨量35ミリととってもそれまでの降り方で状況は違う。平成30年7月豪雨で路面が冠水した箇所については、西部総合開発基幹道建設促進期成会で新見川上線はかさ上げ等してもらいたいと要望している。

いずれにしても安全な通行を求めていくのは当然であり、また地域住民の生活が麻痺する懸念もあるので、改良、落石防止等が確認され次第、基準を検討していただけるようにこれからも引き続き県に対して要望していく。

### 宮田 好夫議員

### 学校でコロナ感染が発生した時の対応は

#### 新型コロナウイルスの学校対応について

**宮田** 国が新型コロナウイルス検査の簡易キットを各自治体に配布しているが、どのように対応するのか。

**教育長** 市に約100セット届いており、緊急時に対応するため、教育委員会と各学校で保管している。

**宮田** 検査は誰が行うのか。感染対策はどうか。陽性となった場合の対応はどうか。

**教育長** キットの使用に関する研修を受けた教職員が検査に立ち会い、陽性の場合は速やかに医師の診断を受けてもらう。PCR検査で陽性なら保健所の指示に基づいての対応となる。

**宮田** 学校で感染が確認された場合の対応はあらかじめ決めているのか。

#### 教育長 国のガイドラインに沿って、陽性者が出た場合は学級閉鎖、

広がりがある場合は学年閉鎖や休校となる。休校の範囲は、保健所等の助言などを踏まえ、学校設置者の判断となる。

**宮田** 休校の場合はオンライン授業が考えられる。ハード面は整備されているが、ソフト面はどうか。

**教育長** ソフト面も準備を進めていて、現在2校で試行を行っている。教職員の研修も進めている。



抗原簡易キット

### 委員会報告

### 議会のあり方検討特別委員会

### 議員の定数 現状維持と削減で拮抗

議会のあり方検討特別委員会では、議員の報酬と議会の定数の議論を進めています。

報酬については、県内複数の市議会が報酬を引き上げていますが、現在のコロナ禍で、市民生活が大変な時にあることを鑑みれば、今は報酬の議論は行わないこととし、定数について議論を進めています。

委員から、定数は面積を考慮すべきだ。定数を減らすと旧郡部から議員が出られない。少なくとも十分な審議ができない。定数を減らせとの声は聴いていない。と現状維持の意見がある一方、人口減少や財政状況を見れば2〜3名減らすべき。昨年の無投票選挙から定数減はやむを得ない。市民の声は定数減である。といった意見が出されています。また議会での審議方法では、委

員会方式で、現状の3委員会を踏襲すべきとの意見が大半であり、

委員会定数は6名は必要という意見と、5名でも可能という意見が出されています。

今後は、委員会の在り方について議論していくこととなりますが、定数がどのようになろうとも、今以上に審議が充実するような方向で議論を進めて行く所存です。



高梁政志会に新加入しました 新倉 淳議員

この度、高梁政志会の末席に参加することとなりました。地域の代弁者として頑張ります。